

第五次 須恵町総合計画

今年4月から、第五次須恵町総合計画がスタートしました。総合計画は、今後10年間の町の最上位計画として位置づけられているものです。計画内の基本構想・将来像を実現するために、5本の大纲を策定しましたので、ご紹介します。

施策の大綱 4

安全で安心して快適に暮らせるまち
(都市基盤・防犯・生活環境・産業)

施策項目3

利便性の高い都市の形成

- 施策内容1 道路・交通体系の整備推進
- 施策内容2 適正な土地利用の促進
- 施策内容3 水利用計画の推進
- 施策内容4 公共下水道の整備推進
- 施策内容5 生活環境の整備促進

施策項目4

地域産業の活性化

- 施策内容1 農林業の振興
- 施策内容2 商工業の振興



施策内容1 道路・交通体系の整備推進

町民が快適に移動できる利便性の高い交通ネットワークを形成するため、道路整備を進めるとともに、鉄道とバスによる公共交通の充実に取り組みます。

《現況と課題》

3本の県道、5路線の都市計画道路に加え、須恵スマートインターチェンジが設置されています。しかし、十分な幅員の確保や歩道の設置、バリアフリー化が行われていない生活道路もあります。公共交通機関では、JR香椎線で博多駅まで約30分。また、平成22年度からコミュニティバスが運行されています。鉄道とバスの連携により利便性をさらに向上させるとともに、コミュニティバスの効率的・効果的な運行を検討していく必要があります。

■施策の方向性

- ① 幹線道路の整備
 - 県道志免須恵線や都市計画道路の粕屋宇美線の整備をさらに進めていくとともに、未着手となっている都市計画道路の早期事業着手を関係機関に働きかけていきます。また、幹線道路の整備にあたり、自動車だけでなく歩行者の通行に配慮するとともに、街路樹の整備など良好な景観形成にも努めていきます。
- ② 生活道路の整備
 - 町民の利用頻度が高い生活道路については、建設時の拡幅誘導や地域住民の協力などにより、幅員改善、若干広い歩道の設置、バリアフリー化などに取り組みます。
- ③ 広域道路交通ネットワークの強化
 - 須恵スマートインターチェンジを核として、利便性の向上を図るとともに、接続する道路の整備を進めるなど、広域道路交通ネットワークを形成します。
- ④ コミュニティバスの運行
 - 町民の利便性の向上や鉄道との接続、既存バス路線と共存した路線の検討やダイヤ、運賃、バス停の見直し・検討を適宜行い、より効率的・効果的な運行を行います。
- ⑤ 須恵中央駅周辺の利便性の向上
 - 須恵中央駅周辺の整備を促進し、町民が利用しやすい環境の形成に取り組みます。

みなさんで取組みましょう 公共交通機関を積極的に利用しましょう。

施策項目3

利便性の高い都市の形成

施策内容2 適正な土地利用の促進

自然環境、住環境、商業地、農業地、工業地などのバランスが確保された土地利用を実現するため、まちの実情に応じた土地利用計画を定めて土地利用を誘導します。

施策項目3

利便性の高い都市の形成

施策内容3 水利用計画の推進

安全でおいしい水が循環する環境を形成するため、上水道の適正な維持管理を行うとともに、水源の保全を推進します。

《現況と課題》

田畑や山林、原野が減少し、宅地が増加するなど、これまで福岡市のベッドタウンとしての人口増加に伴い、住宅地の開発が行われてきました。そのため、町内には開発可能な土地がほとんど残されておらず、農業用地を転用することが求められています。

一方で、町による開発行為の指導が及ばないミニ開発などによる無秩序な土地利用による住宅地と工業地が混在しています。平成15年度に都市計画マスタープランを策定し、計画的な土地利用を図ってきました。しかし、須恵スマートインターチェンジ周辺に土地利用の方針を定めていない地域があるため、新たな方針に基づく土地利用計画が求められています。

また、旧国鉄炭坑の跡地であるボタ山があり、本町の歴史を伝える資源として、有効活用が求められています。

■施策の方向性

- ① 土地利用計画の見直し
 - 都市計画マスタープランの見直しを行い、新たな土地利用の方針を定めるとともに用途地域の見直しなどを行い、適正な開発の誘導や住・工混在の解消を図ります。
- ② 中心市街地の整備
 - JR須恵中央駅周辺を商業地域と位置づけ、町民の生活ニーズに対応した商業の振興を促進します。
- ③ 須恵スマートインターチェンジ周辺の適正な土地利用の推進
 - 須恵スマートインターチェンジの交通結節点としての機能を活かした地域振興を図るため、周辺地域の土地利用の見直しを行います。
- ④ ボタ山の有効利用
 - 須恵町、粕屋町、志免町の3町による協議会により、ボタ山の活用方策について検討します。

みなさんで取組みましょう 須恵町の土地利用計画に沿った土地利用を行いましょう。

《現況と課題》

須恵町の上水道は、須恵ダムをはじめとする豊富な水源と、福岡都市圏で構成する福岡地区水道企業団による水道の安定供給により、水源は十分に確保されている状況となっています。一方で、整備から年月が経過した水道の配管などの水道施設の老朽化が見られます。下水道築造工事に伴う改良工事などにより水道管を新しくしています。

今後は、経営の効率化の推進や事務の能率的な執行に努めるとともに、水道施設を適正に維持管理し、水源となっている森林を守っていくことが重要になります。

■施策の方向性

- ① 上水道の安定供給
 - 老朽化した水道施設の更新や、震災に備えた耐震化など将来にわたり安全でおいしい水道水を安定して供給できるよう総合的な施設整備を進めていきます。
 - 水道事業の健全化のために水道料金の見直しを行います。
- ② 「緑のダム」づくりの推進
 - 水源となっている森林の保全と保水機能の向上のため、間伐や落葉樹の植林を行います。
 - 福岡都市圏の水道安定供給のため、水源森林の保全や環境整備への周知・啓発を行います。



須恵ダム 貯水量 8万 m³



中柱田貯水池 貯水量 12万 m³

みなさんで取組みましょう 節水に心がけ、水を大切に使いましょう。